

地域人材・資源活用推進事業 通信 第1号

東京都立七生特別支援学校

令和5年9月

テーマ 「住んでいる地域を知り、自分たちの取り組みを地域へ発信し、
ともに響き合う理解推進を！」

七生の3つの取り組み

- ① 日野市郷土資料館を活用し、地域を知ろう
- ② 帝京大学との教育連携で、特別支援教育の情報を発信しよう
- ③ 地域の技術者の技術提供による作業学習製品品質の向上にむけた新製品の開発

今回は「郷土や地域に関する理解推進」として、高等部1年生が日野市郷土資料館の学芸員の方を講師に招き、日野の歴史・暮らしと文化そして自然について学びました。そして後日、郷土資料館を見学し、たくさんの資料、展示品を実際に見て・触れて・体験してきました。

今回の体験を通して、自分たちが住んでいる地域に対する「なぜ？」や「気になる」といった興味・関心を高める機会となりました。

高等部1年生 生活単元学習「自分たちの住む地域（日野市）を知ろう」



学芸員の方の話から多くの学びがありました。



興味津々に展示物をのぞき込んだり、メモをとったり。



自分から話を聞きにいく生徒も。主体的で深い学びにつながっています。



日野市郷土資料館には昔使われていた農機具や生活用具、日野市に生息していた動物のはく製や昆虫の標本、日野市の歴史などの展示品がありました。お土産に日野市の地図をもらって、学校に帰ってきてから地図を開き自分の家や学校、知っている場所などを探して楽しんでいる生徒の姿も見られました。「日野市にはたくさんの小動物がいることがわかりました。」「昔に使っていた道具がわかりました。」「郷土資料館へまた行きたいです。」という学びを得た生徒や、「自然が豊かで良いところだ。」と日野市を誇りに思うことができた生徒もいました。地域を知る良い機会となりました。